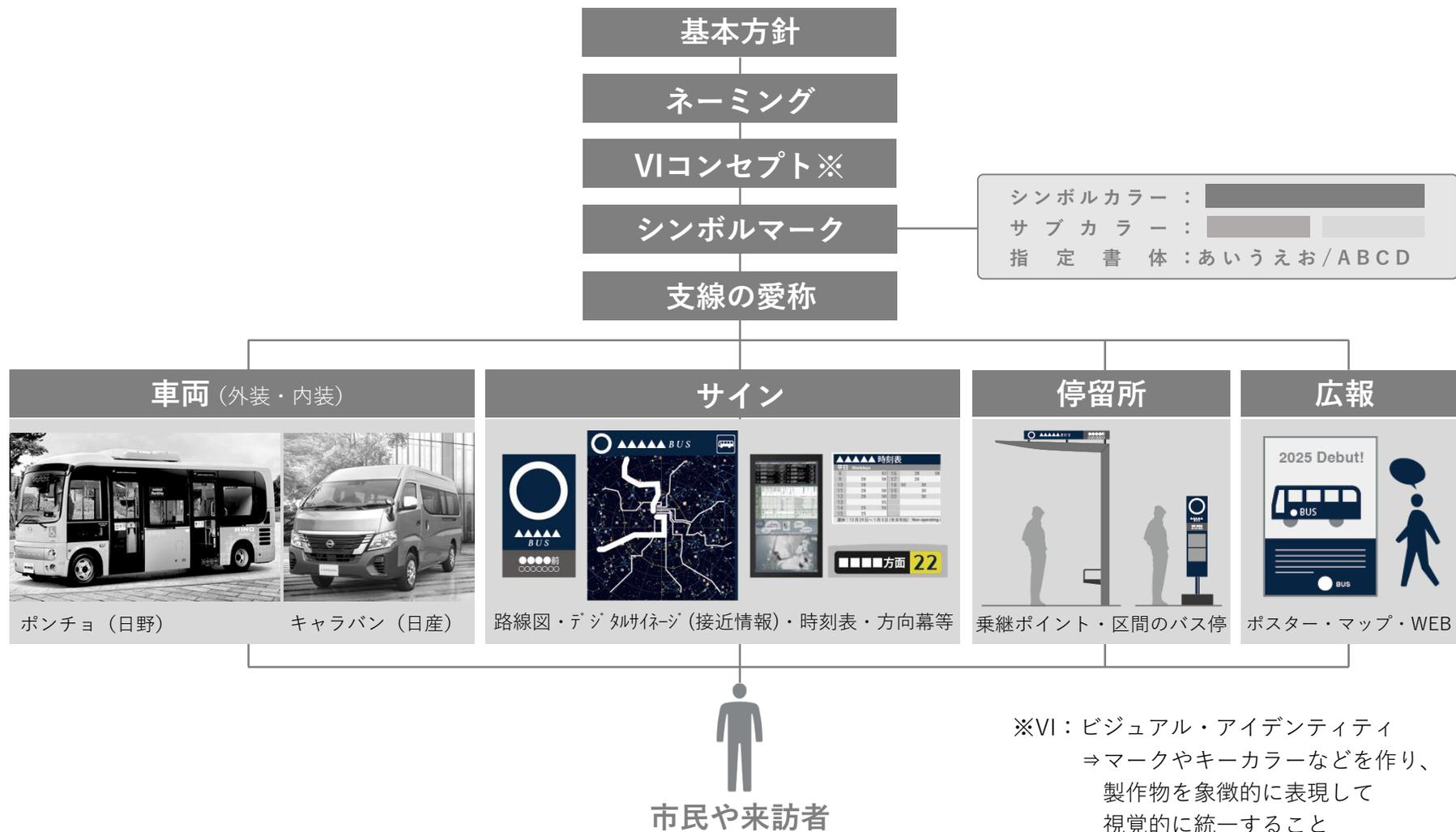


トータルデザインの目的

- ・利用者が目にする「モノ、情報、環境」を同じコンセプトで統一。
- ・機能性や快適性を総合的に検討し、サービス価値そのものを向上させる。



【参考】検討中の主な施設・設備

■ 小型車両

<ポンチョ (日野自動車)>



<キャラバン (日産自動車)>
「マイクロバス GX」



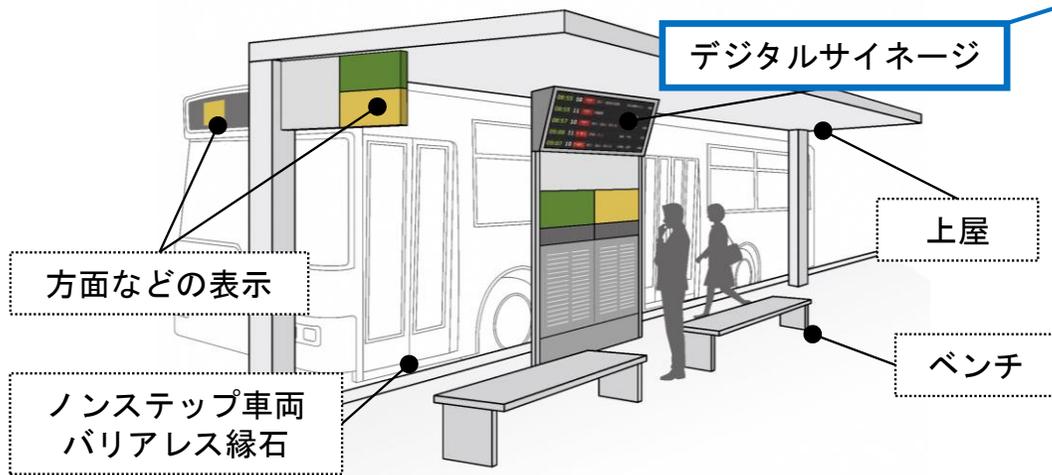
「チェアキャブ (車いす仕様車)」



出典：
日野自動車(株) HP
日産自動車(株) HP

■ 乗り継ぎ環境 (15か所)

電子表示媒体を活用して時刻表やバスの接近情報を発信



岡山駅でも整備を検討中

- ① 東西連絡通路
(既設2基の更新)
- ② 東口駅前広場
(総合的な交通案内板)
- ③ 公共交通案内所
(駅前広場の既設1機を移設・更新)

■ バス停 (置き基礎タイプ、埋め込みタイプ、壁面貼りタイプ)

次の公共交通のスタンダードへ 「SHIFT（シフト）」

- ・ 小型車両活用など、人口減 / 運転手不足時代の公共交通のスタンダードをつくる。
- ・ 路線再編後の新たな交通体系の機能的・普遍的デザインを探る。
- ・ 分かりやすい幹線 - 乗り継ぎポイント - 支線システムをつくる。

ネーミング (案)

これから創る新しい交通体系を包括するワードとして「SHIFT (シフト)」を選定
(新たな公共交通ネットワークに”SHIFT”、クルマから公共交通利用に”SHIFT”、競争から協調に”SHIFT”・・・)

SHIFT (場所・方向・状況などを) 変える、動かす、移行する

S -line	S peed	特急バス (渋川特急、空港リムジン)
H -line	H eart	都心バス、路面電車
I -line	I nter-area	鉄道、幹線バス
F -line	F eeder	支線バス
T -line	T own	生活交通 (御津建部、足守、デマンド)

路線の「見える化」に活用

例) 頭文字 + 番号で系統番号を整え(S001、H021など)、停留所や車両 (車体、方向幕等)、路線図などで表記
※既設のバス路線にも展開

VIコンセプト (案)

萌しの日差し (きざしのひざし)

萌し (きざし)

「きざし」の本来の意味は、芽生え・萌え出ること、
何かが始まりそうな様子や物事が起こりそうな気配

- ・ **新しさ**を感じさせるビジュアルデザイン
- ・ 複雑な情報を識別するための
光のように**明快**なビジュアルデザイン
- ・ アイテムを彩る「晴れの国・岡山」の日差しをイメージした**グラデーション**模様



シンボルマーク (案)

VIコンセプトに基づき 3案を作成

①



- 『シフトリング』
- 1つにつながる新交通システムの様子をリングで表現。

②



- 『シフトレインボー』
- 切れ目がなく接続する交通手段を虹のスペクトルで表現。

③

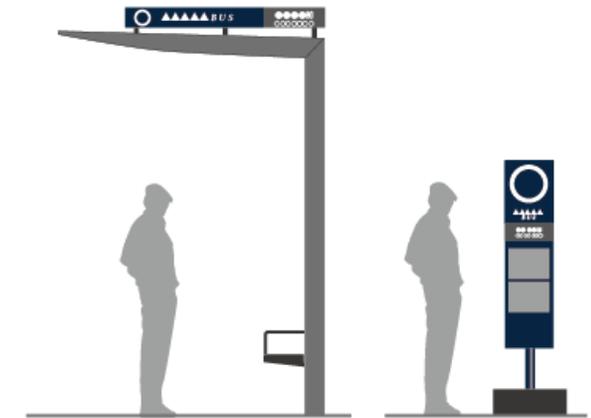


- 『シフトスパイラル』
- 循環やサービスの向上を上昇するスパイラルで表現。

<車両 (幹線、支線)>



<バス停サイン>



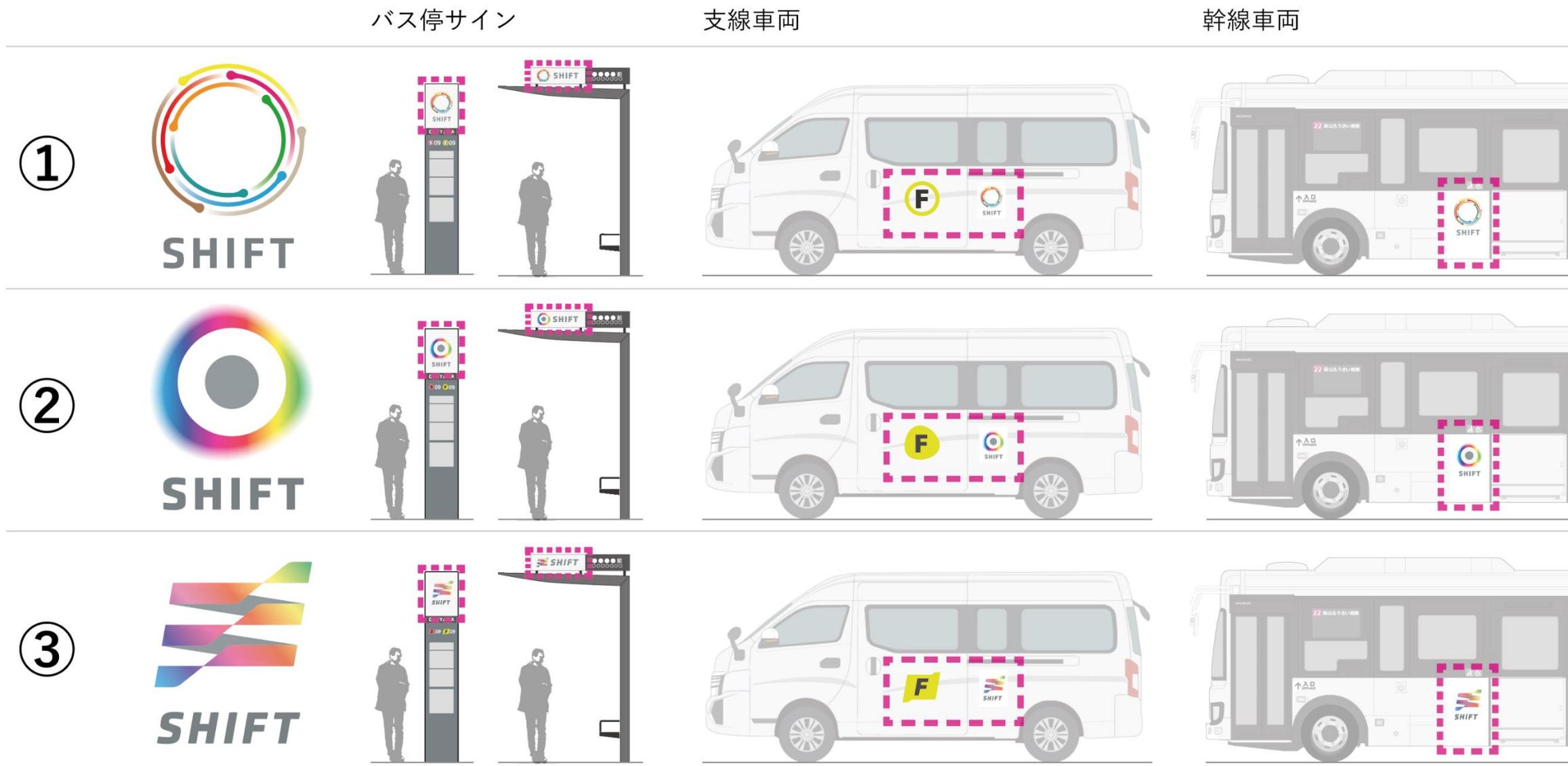
<広報>

ポスター、マップ、
WEBサイト等



【参考】 シンボルマークの展開イメージ

※バス停サイン、支線車両のデザインは、
展開レイアウトも合わせて現在検討中。



支線の愛称（案）

支線はSHIFTの「F」⇒ Fから始まる愛称を検討

- | | | | |
|-----------------|------|---|-----------------------------------|
| ① FEEDA | フィーダ | • Feeder（支線）をダイレクトに表現 | |
| ② FLA+ | フラット | • 気軽に「 <u>ふらっと</u> 」おでかけできる支線バスを表現
• 「T」を「+」表記で「つながる」イメージを表現 | |
| ③ F-BUS | エフバス | • Feeder（支線）の頭文字を使ってシンプルに表現 | |
| ④ FOOP | フープ | • Hoop（輪）の頭文字を「F」に変え、
地域内や地域間を循環する支線バスを表現 | ※京都市に
「Hoop(フープ)」
という循環バスあり |
| ⑤ FLE! | フレ | • 日々の暮らしを「フレッ！と応援する」支線バスを表現 | |
| ⑥ FOOCAL | フツカル | • 小型車両で「 <u>フットワーク</u> の <u>かるい</u> 」支線バスを表現 | |

※岡山市、GK設計、バス事業者で複数アイデアを出し、わかりやすさ、覚えやすさ、呼びやすさ、商標権侵害のおそれがないかどうか等を踏まえて候補を選定

WEB投票の実施

1回目：シンボルマーク、支線の愛称

投票期間： 令和6年12月27日(金)～令和7年1月16日(木) ※3週間

投票資格： だれでも可。1人1票。

投票方法： 岡山市ホームページの投票専用フォームから

結果発表： 次回協議会（1月下旬～2月上旬）を予定

特典：
決定したシンボルマークと愛称に投票した方の中から、
それぞれ5名に抽選で「ハレカカード（※）」を贈呈
※販売額2,000円分
※利用可能額 1,530 円（チャージプレミア2%）及び
デポジット 500 円を含む
※ハレカハーフも選択可

投票フォーム
(準備中)



2回目：車両、バス停サイン等のデザイン

⇒次回協議会（1月下旬～2月上旬ごろを想定）でデザイン案を協議した後、実施予定